

調布市環境基本計画策定に向けた 環境に関する市民意識調査 報告書【概要版】

I 調査概要

【調査目的】

調布市は、平成28年3月に環境行政におけるマスタープランである「調布市環境基本計画」（計画期間：平成28年度～令和7年度）を策定しました。

その間、令和3年3月の改定も経て、環境の保全と創造に向けた様々な施策を推進しているところです。

令和7年度は、現行計画の策定から10年目の最終年度であり、計画の評価や市民意向を把握する必要があることから、次期計画の策定に向けた基礎資料を得ることを目的に、意識調査を実施しました。

【調査概要】

調査対象	市内に在住する満16歳以上の3,000名を住民基本台帳から無作為抽出
調査期間	令和7(2025)年4月30日～5月21日
調査方法	配布方法：調査票の郵送 回収方法：返信用封筒による郵送及びWEB回答
配布数	3,000票
回収数	1,323票（郵送：907票、WEB：416票）
回収率	44.1% ※5月8日督促実施
参考：前回調査（令和元年） 配布数/回答数（率）	配布数：3,000票 回答数：1,321票（44.0%）

調布市環境基本計画策定に向けた意識調査

日ごろから、市政にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申しあげます。

市は、環境に関する施策を総合的・計画的に推進するため、「未来に続く、緑と水あふれるまち」とするまち「調布 - 私が守る地球、私が育む調布の自然と暮らしぶり」を将来像とする「調布市環境基本計画」を策定しています。

現在の計画が前回の改定から5年を経過し、令和7年度に計画期間満了を迎えることから、市は、新しい「調布市環境基本計画」の策定を予定しています。

この調査は、環境に関する皆様の意識や取組の状況を把握し、計画策定や今後の取組に活かすことを目的として行うものです。調査対象につきましては、調布市に住民登録をしている満16歳以上の方から3,000人を無作為に抽出させていただきました。

ご多用のところ、大変お手数をお掛けいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申しあげます。

調布市長 長友 貴樹

■ご回答にあたってのお願い

- 本調査は無記名です。回答結果はこの調査の集計・分析のみに活用し、それ以外には使用いたしません。
- 調査は個人を対象にしています。お送りした封筒に書かれている宛名の方ご本人がご記入ください。
- 特にことわり書きがない限り、全ての質問にお答えください。
- 回答は問1から順に、質問ごとに用意した答えの中から、あなたの考え方についての番号に○を付けてお答えください。なお、質問により、1つだけ選んでいただく場合と、複数選ぶことができる場合がありますので、各質問に従ってお答えください。
- 質問の回答で、「その他」を選んだ場合は、（ ）内にその内容を具体的にご記入ください。

ご回答の方法（ご都合に合わせて①または②をお選びください）

① 郵送でのご回答
本調査票に直接ご記入いただき、同封の返信用封筒に入れ、郵便ボストへ投函（切手貼付不要）してください。

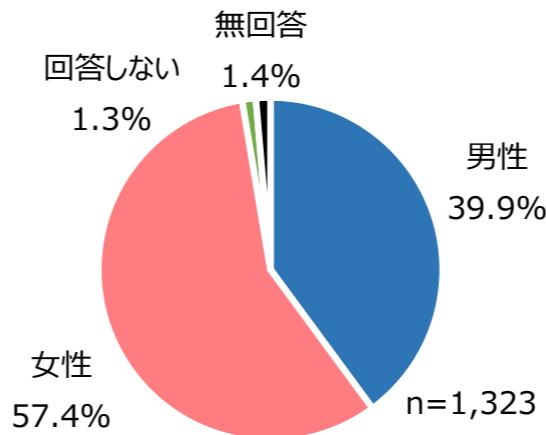
② スマートフォン・WEBでのご回答
下記サイトより、サイトの指示に従ってご回答ください。
https://forms.gle/zz2zksQWioCdKvHW8
※Googleフォームを使用しています。入力しやすいよう、短縮アドレスを記載しています。
令和7年5月21日（水）までのご回答にご協力をお願い申しあげます。

調査についての
お問い合わせ
調布市 環境部 環境政策課
電話：042-481-7086 E-mail：kankyou@city.chofu.lg.jp

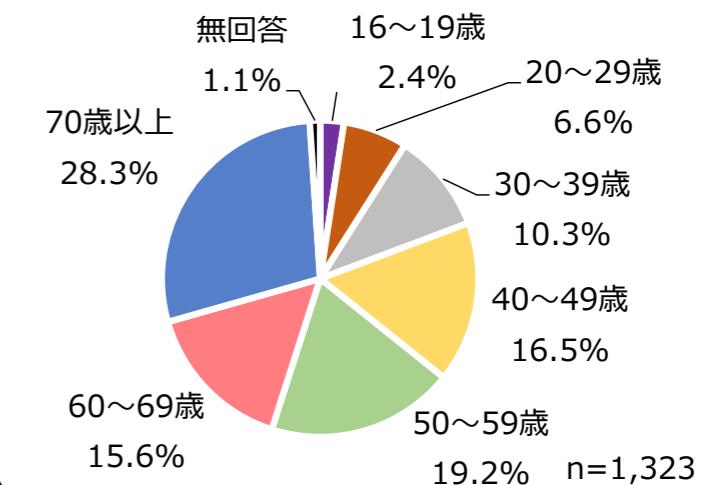
II 調査結果（回答者自身のことについて）

回答者属性について

○性別（問1）



○年齢（問2／年代を回答）



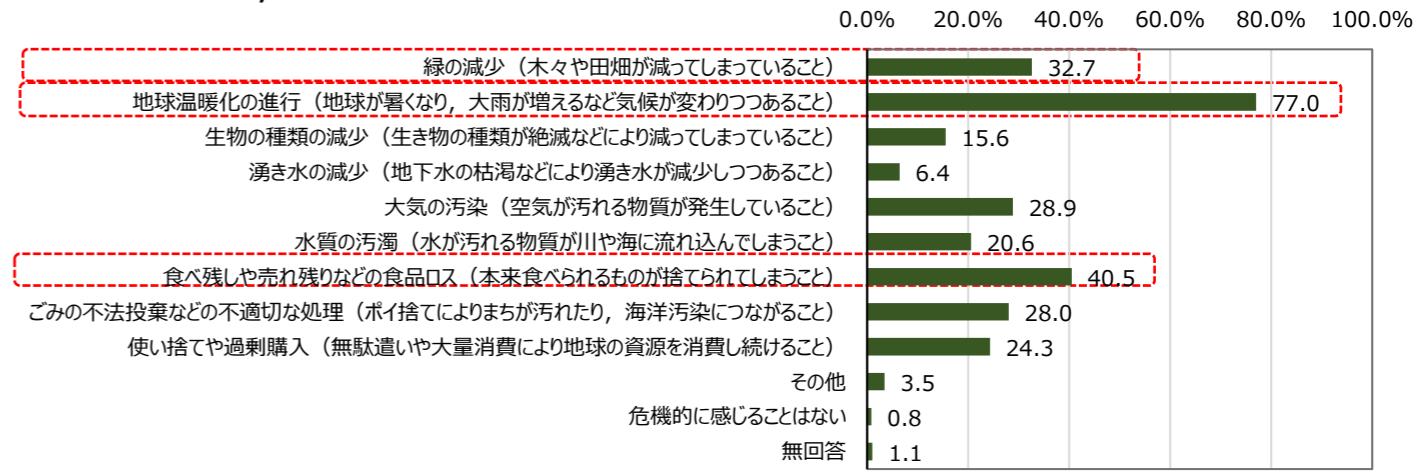
○居住地区（問3／住んでいる町名を回答）

地域	アンケート調査		地域別人口※令和7年1月1日	
	回答数（人）	構成比	人口（人）	構成比
西部地域	213	16.1%	36,723	15.3%
北部地域	221	16.7%	43,730	18.3%
南部地域	546	41.3%	98,765	41.3%
東部地域	328	24.8%	60,130	25.1%
無回答	15	1.1%	—	—
計	1,323	100.0%	239,348	100.0%

III 調査結果（環境に関する考え方について）

環境に関する認識について

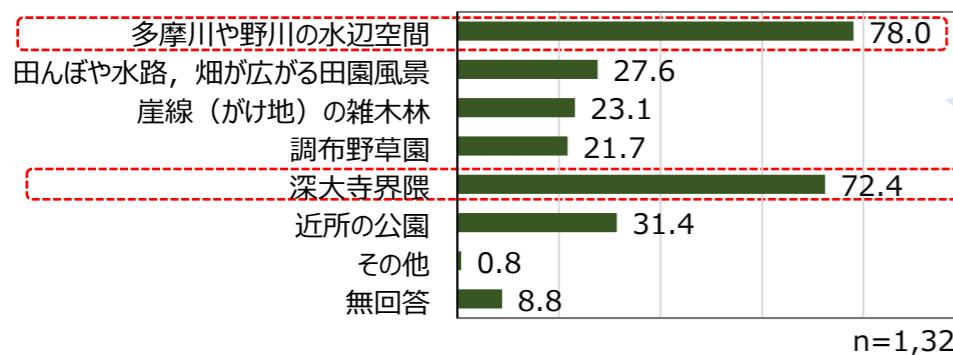
○環境問題の中で、危機的な状態にあると感じていること（問6／複数回答 3つまで）



- 回答者の7割超が「地球温暖化の進行」を危機的な状態にあると感じている。
- 次いで「食品ロス」や「緑の減少」を選択している回答者が多い。
- 日本や世界の温暖化に目を向けるとともに、気候変動に応じた対策の強化が必要

○調布の特色であり将来に残していきたいと思う場所（問7／複数回答 3つまで）

※回答者比 0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0% 100.0%

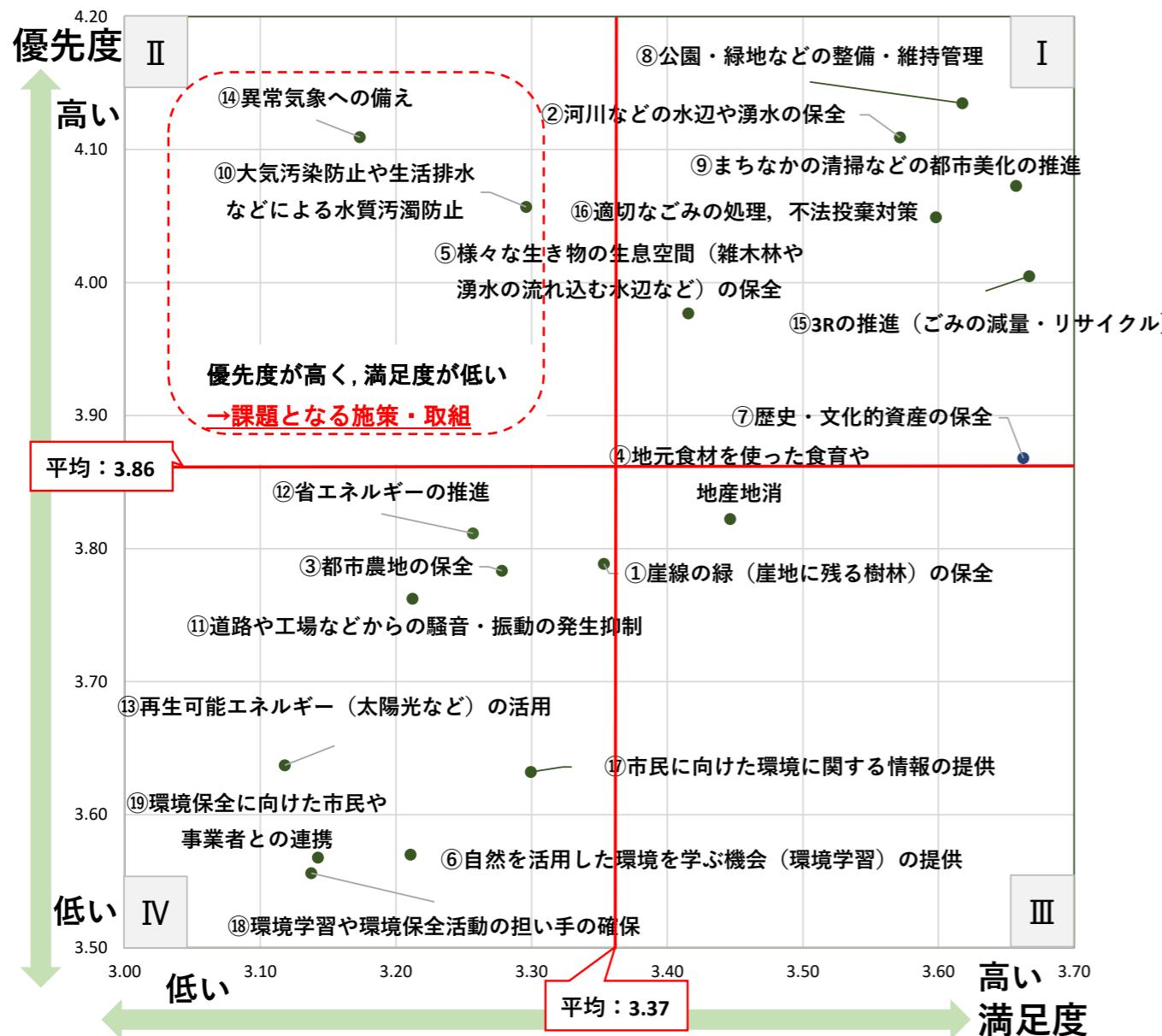


- ・「多摩川や野川の水辺空間」と「深大寺界隈」で回答者の7割超が回答
- ・身近な水辺空間や、地域の歴史・文化に親しむことができる取組の強化が必要

調布市の環境に関する施策・取組について

○調布市の環境に関する施策・取組（問10／各項目単数回答）

調布市の環境に関する施策・取組の優先度・満足度を点数化し、分析した結果は以下の通り。※点数化については、アンケート報告書（P38）の本文参照



- ・市の課題であることが考えられる施策・取組は「大気汚染防止や生活排水などによる水質汚濁防止」と「異常気象への備え」
- ・引き続き、良好な生活環境の実現を図るとともに、災害にも強く安心して暮らせるための取組が必要

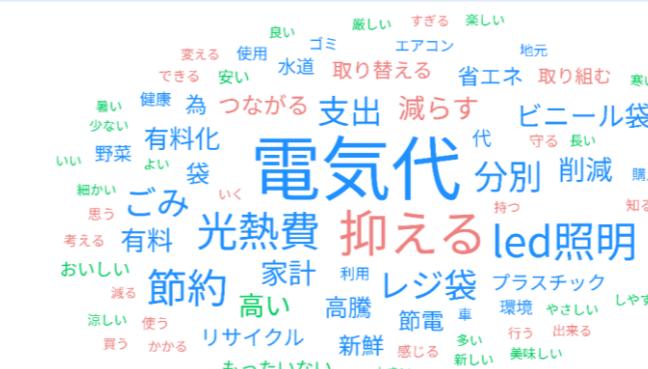
環境に関する取組について

○環境について、普段取り組んでいること（問8／設問20項目で、「積極的に取り組んでいる」「ときどき行っている」「今後行いたい」「行う予定はない」の中から回答）

- ・回答者の9割以上が環境に関する取組として「ごみの分別」「エコバッグの持参」「エアコンの適正温度設定」を行っている。
- ・一方で、「環境学習に参加し、環境への理解を深める」については「行っていない」と回答した人も多く、今後も環境学習に関するプログラムの拡充や、取組の強化が必要

○環境に関する取組を行うきっかけ（問9／記述回答・3つまで選択）

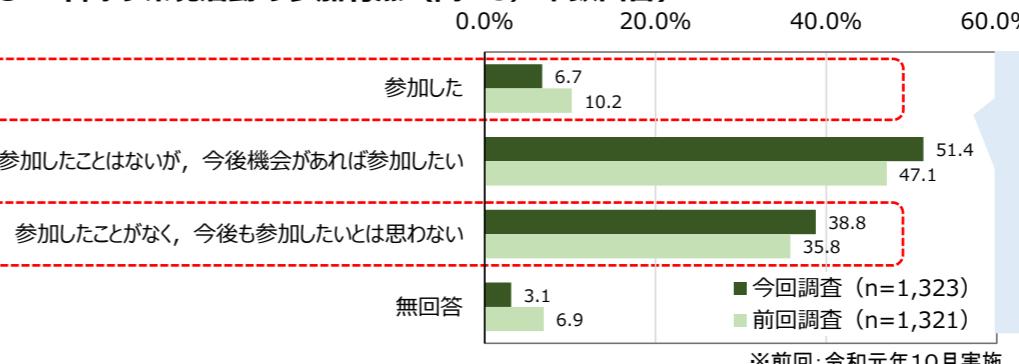
- ・電気代の高騰など、値上げをきっかけに、省エネや光熱費の削減に取り組むケースが多い
- ・環境のためやもったいないという意識から取り組むケースもあり、今後もこの環境に関する意識向上のための取組が必要



～テキストマイニング分析によるワードクラウド～
 ・青字：名詞、赤字：動詞、緑字：形容詞
 ・画像は、スコア順

環境活動について

○1年間の環境活動の参加有無（問13／単数回答）



- ・「参加した」は前回調査と比べ減少、「参加したことがなく、今後も参加したいとは思わない」と回答した人が増加
- ・今後も、環境活動の参加者増に向けた取組が必要

※前回：令和元年10月実施

○環境活動に参加しない理由（問17／複数回答）※「参加したことがなく、今後も参加したいとは思わない」と回答した人限定（n=513）

年齢	上段：回答数 下段：%	合計	問17 環境活動に参加しない理由						
			活動に関する情報がないから	参加する時間がないから	興味のある活動がないから	環境保全につながっていると感じないから	一人では参加しにくいから	その他	無回答
全般	513	97	285	97	33	139	83	1	0.2
16～19歳	100.0	18.9	55.6	18.9	6.4	27.1	16.2	0.2	0.0
20～29歳	100.0	40.0	80.0	20.0	10.0	40.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳	100.0	25.9	81.5	33.3	3.7	37.0	7.4	0.0	0.0
40～49歳	100.0	16.3	67.5	15.0	7.5	27.5	3.8	0.0	0.0
50～59歳	100.0	22.4	65.9	24.7	10.6	32.9	7.1	1.2	0.0
60～69歳	100.0	11.8	53.9	15.8	6.6	21.1	13.2	0.0	0.0
70歳以上	100.0	17.6	34.1	12.9	4.7	23.5	35.3	0.0	0.0

- ・「参加する時間がないから」は「16～19歳」と「20～29歳」で8割超が回答
- ・時間がない中でも参加できるようなプログラムづくりや、身近な場所で参加できる仕組みが必要